

特定非営利活動法人

シルバーアドバイザー・ネット大阪

第 13 期 通 常 総 会

議 案 書

開催日時 2019年6月1日(土) 午後1時30分～

開催場所 大阪ボランティア協会 大会議室

通常総会議事次第

- 1 開会
- 2 挨拶
 - 1) 理事長挨拶
 - 2) 来賓挨拶
- 3 議長選任
- 4 議長就任挨拶と議事進行
 - 1) 会議成立要件の確認
 - 2) 議事録署名人の選任
 - 3) 議案審議
 - 第1号議案 第13期事業報告承認の件
 - 第2号議案 第13期活動計算書報告と監査報告承認の件
 - 第3号議案 役員選任の件
 - 第4号議案 第14期事業計画（案）の件
 - 第5号議案 第14期活動計算書予算（案）の件
- 5 議長解任
- 6 閉会

第1号議案 第13期事業報告

I. 第13期事業 総括報告

この一年は世界の地域紛争が頻発し、各国の主張が対立し、各国家内の勢力が対立するという大変厳しい状況です。情報技術が目覚ましい勢いで進歩を遂げています。国内では、高齢化が一層進む中で、医療費や介護保険料の負担が大きくなってきています。

シルバーアドバイザー・ネット大阪（以下SA ネット大阪という）は平成18年4月に設立されました。高齢者が長年培ってきた知識や技能を生かしてこの一年間も地域社会で活動し、子どもたちの健全育成、高齢者の生きがいづくりや、安全で住みよい街づくりのために活動してまいりました。

1 各事業部について

伝承おもちゃづくり事業部は子ども達が自分で作ったおもちゃを使って、親子や、またみんなで楽しむ企画を、各地域で実施してきました。定例の「おもちゃづくり教室」の参加者の中には、おもちゃ作りの指導を受けた成果を生かして、地域活動に参加してスタッフに加わるという良い結果が出てきました。

おもしろ算数教室事業部は、子どもたちには自分で考える力を身に付けてもらい、高齢者には脳の活性化により認知症予防を図ることをモットーに、出前教室・パズル体験・パズル塾を開いて好評を得ました。

国際交流事業部は国際交流サロンを開催し、海外の事情を紹介し、いろいろな国からの留学生との交流会を持ち、国際交流と相互理解を深めることができました。大阪大学留学生のホストファミリー活動も個人単位やグループでの交流の会が進んでいます。

広報部は広報誌「SA・ネット大阪ニュース」を発行しました。ホームページでは各事業部の報告と行事予定を随時更新してきました。会員の日頃の活動を「かわら版コーナー」として順次投稿していただいた記事も好評でした。

2 他団体との連携

大阪府高齢者大学校（以下高大という）の創立10周年記念としてのスポーツ大会、講演会などのコーダイフェスタ2018では展示コーナーに参加しました。大阪区民カレッジと大阪府民カレッジではおもちゃづくりの指導やおもしろ算数教室で参加しました。第1回校友会フェスタに参加して、受講生と各OBの加入団体と情報を共有し、日頃の活動を紹介することができました。フレイル（加齢による虚弱）予防講座を開催して健康寿命を延ばすことを共に考えてきました。

II. 事業部 活動報告

1.伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動報告

前期のおもちゃづくり事業部の活動は大別して3つの活動に集約されると思われます。

① 四天王寺「わか市」を中心とした出前活動

四天王寺「わか市」は、昨年度は9回参加、毎月第一日曜日に催されます。

家族で趣味的に作ったものを展示して、出店する人たちが大半で、自分のテントを携え、参道に

沿って出店しています。私達は四天王寺側の好意でメイン参道の一角で、主催者側用に設営されたテントを借りて2年前から参加。出展者の家族、参詣客、観光客に加え、近隣住民の子ども達にも人気が定着した感じで、主催者側からも喜ばれています。

② 大阪区民カレッジ・大阪府民カレッジの各校受講生の年間カリキュラムに組込まれ「おもちゃづくり」を指導。(昨年度は2校3回)。受講生が修了後、地域住民との交流する端緒づくりの一環として役立っています。

③ 「おもちゃづくり教室」の開催

世代間交流の方策の一つとして「おもちゃづくり」が注目されてから四半世紀が経ち、裾野を広げる目的で始めた「教室」も、間もなく100回を数えます。地域でボランティア活動をしようにとする人達がレポーターを拓げようと熱心に参加し、活動時に応用し、更に自ら工夫して披露して、仲間と情報を共有しあう楽しい雰囲気を楽しんでいます。年代、経験にとらわれることなく気楽に参加できるのも魅力的です。「おもちゃづくり」の指導者の世代交代も緩やかな動きながら進んでおり、これまでの活動もそれなりに成果があったのではないかと考えています。

2. おもしろ算数教室事業部 活動報告

① 出前教室・・・高齢者向け4回 実施

高齢者向けに実施をしているところでは、参加を重ねた方は、楽しんでおられる様子がみえます。また「錆び付いていた脳が元気になった」とも仰っておられます。

皆さん「楽しみながら、いつまでも心身共に元気で過ごしたい」との強い思いが窺えます。

② パズル体験・・・6回実施

少ない開催でした。そこで、「いかにこの機会を、増やしていくか」が課題です。「パズルをすると、頭を測られるのが嫌」との声への対応に関しては、少し幅の広い机が確保できる限り、清少納言チェの板を楽しんで頂きたいと準備をしましたが、どうすれば、取り組み始めていただけるかが問題です。

③ パズル塾・・・5回実施

サポーターの方の努力により、実施できました。

④サポーター会・・・春と秋に実施

・新パズルの紹介や、情報交換により、サポーター間の交流を深めました。

3.国際交流事業部 活動報告

今期の活動は従来の活動ができる体制でなくなったところから始まりました。活動メンバー2名が入れ替わり国際交流事業部としての体制再構築から始めました。結果的には従来の講演会スタイルの開催は1回に留まりました。

どうすれば多くの賛助会員の方が参加して頂ける活動ができるかの協議を重ね留学生交流プログラムの実施へという結論に達しました。

すでに年度初めから実施している、大阪大学ホストファミリープログラムの実施要領を参考に大阪日本語教育センターに於いても実施していく事にしました。並行して受け入れ側のメンバーとして高大の国際文化交流科の修了生に働きかけて賛同者に参加して貰う事にしました。修了期の違う1期から

5期のメンバー40名が集まり留学生との交流を進めていく事になりました。

又高大国際文化交流科5期修了生のなかから留学生の就職活動を支援する活動を始めていきたいというグループが生まれSA ネット大阪国際交流事業部の新たな事業としての活動に期待しています。

運営委員会の開催

毎月理事会開催日の午後に開催 午後1時～3時

2018年4月～2019年3月まで12回開催

国際交流サロンの開催内容

第39回国際交流サロン

日時：2018年10月21日（日）

場所：大阪日本語教育センター

講師：新鞍清彦氏（大阪府シルバーアドバイザー連絡協議会 理事長）

演題「回教圏でのプロジェクトから学んだ事」

参加人数：78名（内留学生9名）

ワークショップにおいてはテーブル毎に留学生と交流

大阪大学ホストファミリー活動内容（OHP）

春季OHP活動 留学生3名 ホストファミリー3

秋季OHP活動 留学生5名 ホストファミリー5

交流イベントの開催 4回

大阪大学イベントへの参加 2回 留学生対面式 2回

大阪日本語教育センター留学生交流プログラム（I-SEP）

高大国際文化交流科説明会 2/25（月）

高大修了生向け説明会 3/1（金） 40名参加

留学生就職活動支援事業（4-Ist）

立ち上げ打ち合わせ会 2/12 2/20 3/5

研修会 3/26

4. 広報部 活動報告

1) 広報紙の発行

① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」年3回発行。

・30年04月＝29号下期報告。

・30年07月＝30号総会資料。

・30年11月＝31号上期報告。

※記事内に会員交流の場として「会員かわら版コーナー」継続し、累計30名の方に寄稿頂き、会員同士の活動の情報交換に貢献したのではないかと思います。

② 「SA ネット大阪 PR チラシ」修正版作成し、SA ネット大阪のPRに活用、引きつづき高大、校友会のPRコーナーのラックにも配架し、SA ネット大阪のPRに努めました。

③ 関連団体の「アクティブシニアフェスタ2018」や「10周年コーダイフェスタ」

「30年度高大修了式」「修了生終了後の活動の場説明会」に参加、PRコーナーで資料によるSA ネット大阪のPR、会員募集に努めました。

2) ホームページの推進

- ① SA ネット大阪主催のイベント情報
 - ・「国際交流サロン」、「おもちゃづくり教室」、「おもしろ算数教室」「フレイル講座」等の、各事業部のHPにアップ更新しました。
 - ②トップページに設けた各事業部「トピックスコーナー」に、毎月のホットなニュースを、アップ、ホット情報を届ける様にしています。
 - ③SA ネット大阪会員の活動アップ
 - 「千里英語サロン」、「おしゃべり会」、「ニランジャンナセワサンガ」、「SA 連協歌体操フェスタ 2019」「ふくし大阪6月号」等紹介をしました。
 - ④ホームページ現状を HP プロジェクターでの説明をしました。
- 3) 関連団体主催のイベントに参加
- 「10周年コーダイフエスタ」・「30年度高大修了式」「アクティブシニアフェスタ 2018」等に参加、ホームページにてアップ報告 PR、会員募集に努めました。

第2号議案 第13期活動計算書 報告と監査報告

- I 第13期 活動計算書 報告・・・別紙「決算報告書」を参照願います。
- II 第13期 監査報告・・・・・・・・次頁を参照願います。

	全事業所	本部	おもちゃ事業	算数教室事業	国際交流事業
【受取会費】					
正会員受取会費	78,000	75,000	0	3,000	0
賛助会員受取会費	52,000	52,000	0	0	0
受取会費 計	130,000	127,000	0	3,000	0
【受取寄付金】					
受取寄付金	24,000	2,000	22,000	0	0
受取寄付金 計	24,000	2,000	22,000	0	0
【受取助成金等】					
受取助成金等 計	0	0	0	0	0
【事業収益】					
物品販売収益	25,300	0	0	25,300	0
行事参加会費収益	69,800	34,000	0	4,800	31,000
謝金収入	67,490	0	45,000	22,490	0
他事業収入	67,200	67,200	0	0	0
事業収益 計	229,790	101,200	45,000	52,590	31,000
【その他収益】					
受取 利息	3	3	0	0	0
その他収益 計	3	3	0	0	0
経常収益 計	383,793	230,203	67,000	55,590	31,000
【経常費用】					
【事業費】					
(人件費)					
活動手当(事業)	77,023	0	34,000	43,023	0
人件費計	77,023	0	34,000	43,023	0
(その他経費)					
【売上原価】					
期首商品・製品棚卸高 計	0	0	0	0	0
当期仕入高 計	0	0	0	0	0
期末商品・製品棚卸高 計	0	0	0	0	0
売上原価 計	0	0	0	0	0
諸 謝 金	31,137	31,137	0	0	0
印刷製本費(事業)	17,689	8,200	3,909	0	5,580
会 場 費(事業)	13,800	13,200	0	0	600
旅費交通費(事業)	3,260	0	3,260	0	0
通信運搬費(事業)	3,366	360	2,784	222	0
材料費(事業)	14,651	0	8,855	5,796	0
消耗品 費(事業)	8,069	1,948	6,121	0	0
支払手数料(事業)	216	0	0	0	216
雑 費(事業)	2,553	1,041	1,512	0	0
その他経費計	94,741	55,886	26,441	6,018	6,396
事業費 計	171,764	55,886	60,441	49,041	6,396
【管理費】					
(人件費)					
人件費計	0	0	0	0	0
(その他経費)					
印刷製本費	66,067	66,067	0	0	0
会 場 費	11,700	11,700	0	0	0
旅費交通費	6,000	0	0	0	6,000
通信運搬費	69,304	69,242	0	0	0
消耗品 費	11,569	11,569	0	0	0
諸 会 費	15,000	15,000	0	0	0
支払手数料	2,376	2,376	0	0	0
管理 諸費	99,552	99,552	0	0	0
雑 費	5,700	700	0	0	5,000
その他経費計	287,268	276,206	0	0	11,000
管理費 計	287,268	276,206	0	0	11,000
経常費用 計	459,032	332,092	60,441	49,041	17,396
当期経常増減額	-75,239	-101,889	6,559	6,549	13,604
《正味財産増減の部》					
税引前当期正味財産増減額	-75,239	-101,889	6,559	6,549	13,604
当期正味財産増減額	-75,239	-101,889	6,559	6,549	13,604
前期繰越正味財産額	698,401	707,389	1,986	-13,401	2,427
次期繰越正味財産額	623,162	605,500	8,545	-6,852	16,031

監査報告書

令和元年 5 月 15 日

特定非営利法人 SA ネット大阪

理事長 武内 信憲 殿

監事 新鞍 清彦



私、第 13 期(平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで)事業年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告いたします。

1、 監査の方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿や証拠書類の閲覧、照合等必要と思われる手続きを行った。
- (2) 業務監査について、定例の理事会に出席し、必要と認める場合には質問を行った。

2、 監査意見

- (1) 活動計算書、貸借対照表及び財務諸表の注記ならびに財産目録は会計帳簿の記載金額と一致し、法人の収支状況および財産の状況を適正に表示しているものと認める。
- (2) 理事の業務執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実はないものと認める。しかし将来業務遂行するに、現在の理事の皆様が高齢化が進行しており、事業遂行に困難が生じてくるように思います、今年度は国際関連の人材が多く会員として入会していただいた現状を考え、新事業年度において以下の再編が必要
 - 1) 国際関連の組織としての再編成が必要。
 - 2) 事業収入を得る企画と営業する部署の新設が必要。

以上

I. 第14期 総括事業方針

今期は新規に入会された会員と新役員を迎え新体制でスタートすることになります。従来の各事業部の取り組み方にこだわらずに、新しいメンバーと一緒に、新しい発想を取り入れて、企画、運営に当たりたいと思います。

おもちゃづくり事業部の定例の「おもちゃづくり教室」で身に付けた技術を地域活動で生かせるようスタッフの仲間づくりに努めます。おもしろ算数教室事業部の教室を開催するための応援スタッフの仲間づくりが必要です。国際交流事業部の従来の国際交流サロンの講演会内容も新しい発想での企画が必要です。大阪大学留学生ホストファミリー活動と、新たに大阪日本語教育センター留学生支援プログラムを進めてゆきます。

13年間支えていただきました会員の皆様の技術や活動を大切に継承し、新しい考え方を取り入れてゆきます。

新規の会員と共に各事業部の企画段階や実施段階で一層の工夫と改善が要求されます。大阪府高齢者大学校、大阪区民カレッジ、大阪府民カレッジ、校友会等の関連団体との連携が益々重要になります。

日頃の活動に賛同いただき、一緒に楽しみながら活動してみようという方々の参加を歓迎いたします。会員の皆様に喜んでもらえるような企画、地域の皆様に歓迎される企画を一緒に考えましょう。

II 事業部 活動方針

事業の実施に関する事項

1. 伝承おもちゃづくり府民塾事業部 活動方針

前期に引き続き3つの活動の流れを中心に活動していきます。

① 四天王寺「わか市」を中心とするイベント参加

四天王寺境内で月1回催される「わか市」は、市民が趣味的に作った品を展示して即売もするという「市」で誰もが気軽に見て回り選べる雰囲気定着し、私たちの「おもちゃづくり」も子どもたちからシニアまで簡単に作れて面白そうと足を留めて作って楽しんだという点で人気です。このような交流をこれからも大切にしていきたいと思います。(今年度は8回参加予定)

② 大阪区民カレッジ、大阪府民カレッジ各校のカリキュラムにある「おもちゃづくり講座」の講師として受講生を指導します。大阪府高齢者大学校の姉妹校として現在市内・府下合わせて16校ありますが、いずれも「地域密着型カレッジ」を目指し、修了後の地域住民との交流を図る方策の一つとして「おもちゃづくり講座」が組み込まれ、これまで各々の地域で交流に役立っており今後も引続き注力していきたいと考えています。(今期は2校を担当します)

③ 「おもちゃづくり教室」の開催

隔月1回(奇数月)開催。日本古来より伝承されてきたおもちゃを材料・工程などを工夫し改良して継承してきた先輩たち中心に開催してきましたが、今では多くの人々が更にアレンジ、工夫して「独自のスタイルのおもちゃ」として各々の地域で活用されており、「教室」の果たしてきた役割も少なくなかったと考えています。年齢や経験の有無は問わず今後とも技能、情報の共有、交流の場として継続していきたいと考えています。

④ 今後の問題点

これまで指導的役割を担ってきた先輩たちの高齢化であり、ご自身やご家族の健康問題が活動を制約されているという問題です。しかし、この問題も各地域には優れた指導者もおられ、また優れた

技能を持って活動されている方が多く、私たちが NPO を立ち上げた当初の役割は充分果たせたのではないかと考えていますが、今期も「おもちゃづくり」を通じて幅広く市民との交流を図っていききたいと考えています。

2. おもしろ算数教室事業部 活動方針

- ① この教室を理解していただくために、パズル体験の機会を増やします。そのために「おもしろ算数パズル塾」という休眠システムを活用します。サポーターが、この塾の活動を企画し、より多くの方が、パズルを解く楽しみを知り、脳の活性化を目指してくださるよう進めたい。
- ② 出前教室の機会を増やしたいものです。報告でも触れましたが、継続的に実施しているところでは、何回も参加している方が、目新しいタイプのパズルに対してもどんどん解き進んでいけます。しかし、新しく参加し始めた方は、なかなか解き進まないことが多いようです。そこで、一定の活動の場を確保しようと準備を進めています。
- ③ 多くの方に、算数パズルを解いて楽しんで頂き、脳を活性化し認知症予防につなげたいと考えています。そのために「パズル体験会」や「おもしろ算数パズル塾」実施の機会を増やし、参加者に「おもしろ算数教室」とはどのようなものかを、知っていただきたいものです。
- ④ サポーター会を、より充実したものにするために、次の様に取り組んでいきます。次の目標をたてて、楽しく活動できる会にしていきます。
 - (1) 各々のサポーターが「おもしろ算数パズル塾」の実施を目指す。
 - (2) 新しいパズルを、互いに提案し、楽しみます。
 - (3) おもしろ算数教室の目的「楽しみながら、脳の活性化を図る」ことを目指し、テキスト販売にも力を入れます。

3. 国際交流事業部 活動方針

新しい期を迎え国際交流事業部は新しく生まれかわります。

活動内容は今までの国際交流サロンと大阪大学留学生ホストファミリーに加え新たに以下 2 つの活動を始めます。

① 大阪日本語教育センター留学生交流プログラム

留学生との交流を通じて、お互いの国の文化・習慣の認識を正しく認識し相互理解を深めるとともに、留学生の日本での生活の助言や相談にも対処できる事を目的とします。

② 留学生就活支援活動

日本の企業への就職を目指す外国人留学生に「日本の就職活動」に関する知識を習得させる事をミッションとして、国際文化交流を礎に留学生支援を展開し日本経済の発展に貢献するシニア組織をビジョンとして進める活動であります。

従来の活動と新たな活動を加えた 4 つの活動を相互に連携させ相乗効果がうみだせるように月 1 回の運営会議を継続開催致します。

4.広報部 活動方針

1) 広報紙の継続発行

- ① 広報紙「SA・ネット大阪ニュース」は、年3回3 1年4月,7月,10月の発行を目指します。
 - ・継続して会員交流の場「かわら版コーナー」等、充実した内容を図り発信します。

②各事業部イベントチラシの支援

2) 啓発活動

- ① 高大校友会のPR コーナーのラックにも継続して「PR チラシ」等を配架、SA ネット大阪のPR に努めます。
- ② 関連団体行事の「高大文化祭」「高大スポーツ大会」「高大修了式」「区民、府民カレッジ修了式」に事務局と共同で参加し、PR ブースで資料でのSA ネット大阪のPR に努めます。

3) ホームページの推進

- ① SA ネット大阪主催のイベント「国際交流サロン」、「おもしろ算数教室」、「おもちゃづくり教室」等の各事業部の資料更新と引き続き「事業部トピックスコーナー」の充実で、定期的なホットニュースを発信します。
- ② 「SA・ネット大阪ニュース」を、年3回30年4月,7月,10月にアップします。
- ③ 関連団体の大阪府高齢者大学校、高大校友会、関連団体のイベントの報告をアップします。
 - ・SA ネット大阪会員の主催する情報も随時掲載して更新を図ります。
- ④ホームページ全体のリニューアルの検討に入ります。

4) ネット大阪データ管理

- ・ネット大阪事業経営管理データの作成検討に入ります。

第5号議案 第14期活動計算書予算(案)・・・・・・・・次頁を参照願います。

第5号議案

第14期 活動計算書予算(案)

NPO法人シルバーアドバイザー・ネット大阪

[税込] (単位:円)

勘定科目	昨年同期実績	総計	本部	おもちゃ事業	算数教室事業	国際交流事業
《経常増減の部》						
【経常収益】						
【受取会費】						
正会員受取会費	78,000	84,000	84,000			
賛助会員受取会費	52,000	80,000	80,000			
受取入会金						
受取会費計	130,000	164,000	164,000			
【受取寄付金】						
受取寄付金	24,000					
受取寄付金計	24,000	0	0			
【受取助成金等】						
委託金収入						
受取助成金等計	0	0	0			
【事業収益】						
物品販売収益	25,300				15,000	
行事参加会費収益	69,800	95,000	30,000		15,000	50,000
謝金収入	67,490	60,000		50,000	10,000	
他事業収入	67,200					
事業収益計	229,790	170,000	30,000	50,000	40,000	50,000
【その他収益】						
受取利息	3	3	3			
その他収益計	3					
経常収益計	383,793	334,003	194,003	50,000	40,000	50,000
【経常費用】						
【事業費】						
(人件費)						
活動手当(事業)	77,023	68,000		33,000	35,000	
人件費計	77,023	68,000	0	33,000	35,000	
(その他経費)						
諸謝金	31,137	25,000	5,000			20,000
印刷製本費(事業)	17,689	12,000		3,000		9,000
会議費(事業)						
会場費(事業)	13,800	27,000	15,000			12,000
旅費交通費(事業)	3,260	3,000		3,000		
通信運搬費(事業)	3,366	2,000		2,000		
材料費(事業)	14,651	8,000		6,000	2,000	
消耗品費(事業)	8,069	9,000		3,000		6,000
租税公課(事業)						
支払手数料(事業)	216					
雑費(事業)	2,553	3,000				3,000
その他経費計	94,741	70,000	20,000			50,000
事業費計	171,764	157,000	20,000	50,000	37,000	50,000
【管理費】						
(人件費)						
人件費計	0	0				
(その他経費)						
印刷製本費	66,067	50,000	50,000			
会場費	11,700	10,000	10,000			
旅費交通費	6,000					
通信運搬費	69,304	60,000	60,000			
消耗品費	11,569	10,000	10,000			
諸会費	15,000	15,000	15,000			
租税公課						
支払手数料	2,376					
管理諸費	99,552	100,000	100,000			
雑費	5,700					
その他経費計	287,268	245,000	245,000			
管理費計	287,268	245,000	245,000	0		
経常費用計	459,032	402,000	265,000	50,000	37,000	50,000
当期経常増減額	▲75,239	▲67,997	▲70,997	0	3,000	0
《経常外増減の部》						
【経常外収益】						
経常外収益計	0	0				
【経常外費用】						
経常外費用計	0	0				
《正味財産増減の部》						
税引前当期正味財産増減額	▲75,239	▲67,997				
当期正味財産増減額	▲75,239	▲67,997				
前期繰越正味財産額	698,401	623,162				
次期繰越正味財産額	623,162	555,165				